

フィールドから 多文化社会を考えよう

in人権ライブラリー

9.30(土)

13:00~16:30

参加費500円
(地図代・資料代含む)

第1回「フィールドから多文化社会を考えよう」テーマ

トルコのシリア難民の"いま"

●2011年から継続しているシリア内戦によって未だに660万人近くのシリア人が難民としての暮らしを余儀なくされています。シリア難民の半数以上を受け入れているトルコについて学ぶことで、多文化社会を考える新しい視座を得られるのではないのでしょうか。●質疑応答の時間を長めに取り、基調講演に関連したワークショップも行います。会場にいる一人一人が対話し、議論に参加できるフォーラムになっていますので、ぜひ初めての方もご参加ください。

基調講演

伊藤寛了 帝京大学専任講師

帝京大学専任講師。東京外国語大学在学中にトルコ共和国アンカラ大学に留学、その後同大学大学院在学中に同国ボアズィチ大学アタテュルク研究所に留学。2006年にトルコ日本国大使館専門調査員となる。2019年に帝京大学に着任しトルコにおける難民政策とシリア難民保護の支援をテーマに研究。



講演テーマ

トルコのシリア難民の社会統合：
トルコ地域研究と難民研究の結節点として

トルコ近現代史を専攻していらした伊藤先生の問題意識が、実務家として難民支援に従事される中でどのように変化し、トルコのシリア難民について研究するようになったのかについてお話していただきます。さらに、トルコへの2度の留学および勤務、難民支援の経験、トルコでのフィールドワークなどのエピソードを軸に、トルコの魅力についても教えていただきます。

プログラム

13:00 開会挨拶：茅野礼子

13:20 講演

『トルコのシリア難民の社会統合：
トルコ地域研究と難民研究の結節点として』

14:10 質疑応答

～休憩～

15:00 ワークショップ/おしゃべり会

トルコの地図と街の風景から
・難民支援について考えよう
・フィールドワークについて考えよう

16:00 閉会挨拶：大野勝也

16:20 感想共有・アンケート

日時：2023年9月30日(土)13:00~16:30

場所：人権ライブラリー多目的スペース
(公益財団法人人権教育啓発推進センター併設)
〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12
KDX芝大門ビル4F

定員：会場20名

参加費：500円(地図代・資料代含む)

お申込み
お問合せ

多文化社会研究会ホームページ上の
WEBフォーム
(<https://forms.gle/tNHGo3WB7eoxycoX8>)
にてお申込みください

多文化研



【主催】多文化社会研究会
多文化社会研究会ユース班

